

環境に係る情報協議会

国営総合農地防災事業 雨竜川下流地区

1. 事業の概要（案）

■ 事業の目的

八丁目頭首工は、国営秩父別土地改良事業（昭和26年度～昭和44年度）により造成されたが、雨竜川流域内の土地利用の変化による降雨の流出形態の変化や降雨量の変化により、河床洗掘の進行、洪水流下能力不足といった施設機能の低下が生じており、広域的な災害の発生するおそれが高まっている。

このため、八丁目頭首工の改修を行い、施設機能を回復して災害の未然防止を図ることにより、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、もって国土の保全に資するものである。

■ 受益面積：829ha

■ 主要工事計画：頭首工 1箇所

2. 地域の環境に対する考え方（秩父別町、妹背牛町田園環境整備マスタープランより）

■ 田園環境の現状と課題

【現状】

『秩父別町』

◎緑豊かな農地や森林、また雨竜川をはじめとする豊かな水脈を有した自然に恵まれている。

『妹背牛町』

◎総面積の約70%が水田で、そこに飛び交う無数のトンボとその平坦で広大な田園風景はまちのシンボルである。

【課題】

『秩父別町』

◎将来に渡り快適な環境や景観を造り上げていくため、既存の緑地の保全に努め、町内の緑化を積極的に進める。

『妹背牛町』

◎田園風景を守るため自然環境に十分配慮して、自然と共生する環境を将来に引継ぐ必要がある。

3. 環境配慮計画

■ 基本方針

本事業における施設の改修にあたっては、生息・生育する動植物の保全及び水と緑のネットワーク形成に配慮した構想の検討を行い、農業経営の安定と自然環境への配慮を図る。

■ 取り組み内容

【生態系への配慮】

- ① 河川の連続性への配慮
 - ・新設頭首工の魚道設置
- ② 河畔林における既存在来種の保全
 - ・施工時における外来種の拡大防止
- ③ 水質の保全（施工時の配慮）
 - ・濁水処理施設の設置

【景観への配慮】

- ④ 河川景観との調和への配慮
 - ・上屋、屋根などの形状と色彩のバランス